

市長訓示

- 本日、避難所となっている千丁コミュニティセンターを訪問し、避難者の方にお声かけをしてきました。避難されている方は「元気です」とおっしゃっていましたが、表情には疲れが見えるように感じたところです。
- 発災から1か月半が経過し、避難生活も長期化しています。職員の皆さんにおいては、日頃からの声かけを通じて避難者の状況を把握するとともに、在宅被災者の健康確認等にも引き続き努めていただきたいと思います。
- また、昨日JAを訪問した際、組合長より、浸水したい草・畳表の受け入れについて、作業の都合上、浸水部分のみを切り分けるのに時間がかかることから、受入期間を設けないで欲しいとのご要望をいただきました。
- 被害を受けたい草農家の方々にとって、より利用しやすい支援策となるよう、柔軟な対応を含めた協議・検討をお願いします。
- 各対策部のこれまでのご尽力により、災害復旧は着実に進んでいますが、被災者の1日も早い生活再建に向けて、各種支援制度の周知・徹底に今後も注力していく必要があります。
- 状況は刻々と変わっていきます。各対策部におかれては、部長を中心に「今やるべきこと」を的確に把握し、その都度、適切な対応をとっていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。